



～失敗からたくさん学んで～

校長 藤田 優

「学びは失敗の中にある」

「悔しさという大きな収穫を手に入れることができた。」

先日オータムクラシック2017で惜しくも優勝を逃した羽生結弦選手の言葉は、失敗をプラスにとらえたものでした。

演技の冒頭の3回転レッツが1回転になったところで、予定を替えて4回転ループを入れようか一瞬考えたそうです。ミスのリカバリーしようとしたのでしょう。しかし、「一個一個の雑念がすごく多くて、本当にいろんなことを考えすぎてぐちゃぐちゃになっちゃった」とのコメント。エレメンツの後にすぐまた次のエレメンツがくる難易度の高い緻密な構成の演技、瞬時に判断することを繰り返す中での出来事を冷静に振り返り、そこで生まれた悔しさを収穫と言えることが一流の証です。

まもなく前期が終了します。ここまでの学校教育へのご理解、ご協力に深く感謝いたします。終業式の日にわたす「あゆみ」では、頑張ってきたことなど子どもたちの成長の様子をお伝えできればと思います。ただし、あゆみには書ききれない日々の生活の中にも成長の種はたくさんありました。成功体験だけでなく、失敗したことの中にも学びとなるものがあることも心にとめて、後期の生活も充実させていってほしいと思います。

「例えば生き物の飼育では」

低学年の子どもたちが生き物探しを楽しんでいます。秋になりカエルやバッタ、コオロギなどたくさん見られます。大事そうに虫かごを抱えている姿はとても微笑ましいものです。

「死んだらかわいそうだから、逃がした方がいいんじゃない？」捕まえてきた虫を見て、昔、子どもたちにそう話していた先生がいました。生命尊重かもしれませんが、どのような環境を作ったら長生きしてくれるのかは、一生懸命心を込めて育ててみなければわかりません。

動植物の飼育・栽培を学習内容とする生活科でも、「飼育や栽培の過程では、新しい生命の誕生や突然の死や病気など、生命の尊さを身をもって感じる出来事に直面することもある。成長することの素晴らしさや尊さ、死んだり枯れたり病気になったりするときの悲しさやつらさ、恐ろしさは、児童の成長に必要な体験である。動植物とのかかわり方を真剣に振り返り、その生命を守っていた自分の存在に児童自らが気付く機会ととらえることが大切である」と学習指導要領に学びのポイントが書かれています。失敗も貴重な学びの機会となる、という視点です。

たくさん考えてチャレンジする。うまくいかなかったことから、また更に工夫をしていく。そん

な学びのサイクルを作っていきたいと思います。

1年 親への感謝「親守詩」 おやもりうた

土曜参観で行った道徳の授業、「子供の成長を祝う日本の行事」。

授業の前半では、子供の成長を祝う日本の行事は0歳から1歳までにたくさんあることを押さえ、お七夜、お宮参り、お食い初めなどをクイズ形式で学習しました。そして、それらの行事をしていてもしていなくても、「お家の人は、みんなを大切に大切に育ててきたのだよ。」ということを確認しました。

授業の後半は、親への感謝の気持ちを表す「親守詩」を作成しました。

親守詩とは、短歌の一つで、上の句（五七五）は、子どもが作ります。それを受けて、親などが下の句（七七）をつくります。授業中には、例を参考にしながら子どもが上の句を作りました。その後、保護者のご協力により、多くの親守詩が提出されました。心が温まる作品、つい笑ってしまう作品など、素晴らしい作品の数々です。この場を借りて、作品のみご紹介いたします。

てが お つっ じ ぶ ん で や っ て ら	お か あ さ ん ゆ ん び	あ り し が い き が い な の だ	お と う さ ん あ そ び	ゆ い お か あ さ ん が ま ま	あ り あ そ ん で く れ て	あ り ご と う さ ん た く さ ん た べ て	お か あ さ ん つ く っ て
---	--------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---	--	---

2年 長縄大会に向けて

9月末に行われる長縄大会に向けて、各クラスで練習に取り組みました。1組は「クラス新記録」「心をひとつに」を、2組は「みんなで声をかけ合って、100回とぼう！」を目標に中休みや体育の時間に練習しました。初めはうまくタイミングがつかめず、跳べないことがありましたが、練習を重ねるうちにスムーズに連続跳びができるようになってきました。また跳べない子がいた時には、優しく「ドンマイ」と自然に声かけができるようになりました。この活動を通して、クラスのまとまりを感じる事ができ

れんしゅうでは、みんなで声をかけあっています。心を合わせてとびたいです。



れんしゅうでは、まん中でとぶことをいしきしてがんばっています。本ばんでは、声をかけ合いきょう力して長なわ大会をせいこうさせたいです。

3年 車いす・高齢者疑似体験

9月13日(水)にケアプラザの方にご来校いただき、車いす・高齢者疑似体験を行いました。子どもたちは、



の気持ちを考えながら、体験活動に取り組んで、「いい気持ちになりました」という声が聞かれました。

車いす体験では、乗っている人が落ちないように気をつけて押しました。私が乗っている時は、押す人が落ちないように押してくれて、いい気持ちになりました。道で車いすに乗っている人がいたら、「大丈夫ですか。」「押してあげましょうか。」と言えるようにしたいです。



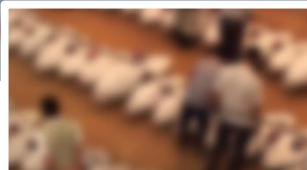
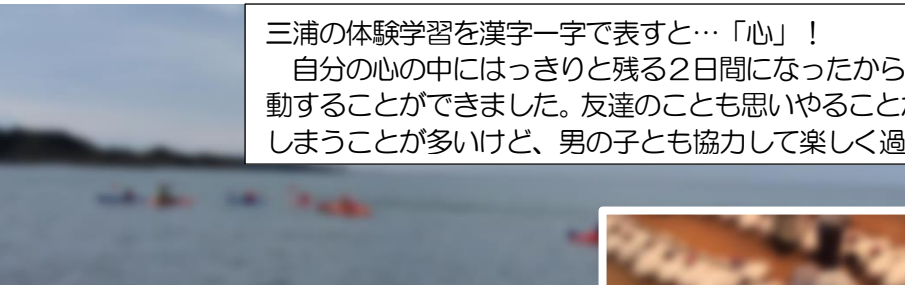
耳あてや重り、ゴーグルをつけて階段を下りると、後ろから押される感じがしました。友達から声をかけてもらえると、転ばないでできるなと思いました。高齢者の方はこんな気持ちなんだなと思いました。これからは高齢者の方にもっと優しくしようと思います。

5年 三浦宿泊体験学習

9月22日(金)~23日(土)の2日間で三浦宿泊体験学習に行ってきました。快晴とはなりませんでしたが、予定通りすべての活動を実施することができました。子どもたちの表情からは自分たちで活動を作り上げていくことへの達成感や、友達と協力して物事に取り組むことの楽しさがにじみ出ており、よい体験学習になっているのだということが伝わってきました。

三浦の体験学習を漢字一字で表すと…「心」!

自分の心の中にはっきりと残る2日間になったからです。また、自分の行動に責任をもって活動することができました。友達のことも思いやることができ、いつもなら女の子同士で行動してしまうことが多いけど、男の子とも協力して楽しく過ごせました。



三浦の体験学習を漢字一字で表すと…「初」!

初めての体験ばかりでとっても楽しい2日間でした。魚市場見学、カヤック体験、うどん作り、キャンドルファイヤー、4つもの初めてがありました。友達と教え合ったり、どうしたらみんな楽しんでるかを考えたりなど、協力する力や考える力が少し高くなった気がします。三浦を通して自分もレベルアップできました。